

SGI 1200 サーバについて

このマニュアルは、SGI サーバの開梱、接続、および電源投入などの作業について説明しています。SGI 1200 サーバファミリーには様々なモデルがありますが、ここでは一般的なSGI 1200 サーバ製品を対象に説明していきます。ここで説明されている作業を行った後の、サーバの詳細設定や、他の様々な機能については、『SGI 1200 サーバファミリー ユーザーズガイド』を参照してください。



警告：安全に作業を行うために、サーバの開梱や設置は、2人以上で行うか、または補助装置を使用してください。サーバ単体で最高 19.1 kg、サーバ、オプション、およびパッケージを合わせると 31.8 kg になります。サーバを別の場所に移動する場合は、台車などの補助装置を利用してください。サーバの運用を開始する前に、42 ページの「製品の注意事項」を参照してください。

必要な環境と物理要件

SGI 1200 サーバは、大部分の業界標準ラックに取り付けられます。ユニットの受領後にサーバの取り付け構成を変更する必要がある場合は、販売店やサービスプロバイダに連絡してください。サーバに必要な環境を表 1 に示します。19 インチラックへのサーバの取り付け方法については、『SGI 1200 サーバファミリー ユーザーズガイド』を参照してください。

表 1 冷却装置と電源の要件

仕様	サーバ 1 台あたりの値
冷却装置の要件：	
最小構成	730 BTU/時間
最大構成	859 BTU/時間
エアコン負荷	最大 0.0718 トン
電力消費量：	
最小構成	214 ワット
最大構成	252 ワット
シャーシの寸法	高さ 3.48 インチ (2U) x 幅 17.1 インチ x 奥行き 23.92 インチ (高さ 8.85 cm (2U) x 幅 43.43 cm x 奥行き 60.76 cm)

表 1 冷却装置と電源の要件 (続き)

仕様	サーバ 1 台あたりの値
重量:	
サーバ本体	最大 42.0 lb (19.1 kg)
梱包状態 (オプション等含む)	最大 70.0 lb (31.8 kg)
取り付け方向	任意。背面は 2 インチ (5.1 cm) 以上の空間を確保してください。

SGI 1200 サーバのセットアップ

ここでは、SGI 1200 サーバのセットアップについて説明していきます。

1. サーバの設置場所を選択します。『SGI 1200 サーバファミリー ユーザーズガイド』の説明を参考に、安全で適切な場所を選択してください。
2. カートンからサーバを取り出します。
3. フロッピーディスクドライブから、ドライブ保護カードを取り出します (ある場合)。図 1 に、サーバ前面のドライブの位置を示します。この図は、フロントカバーを取り外した状態を表しています。

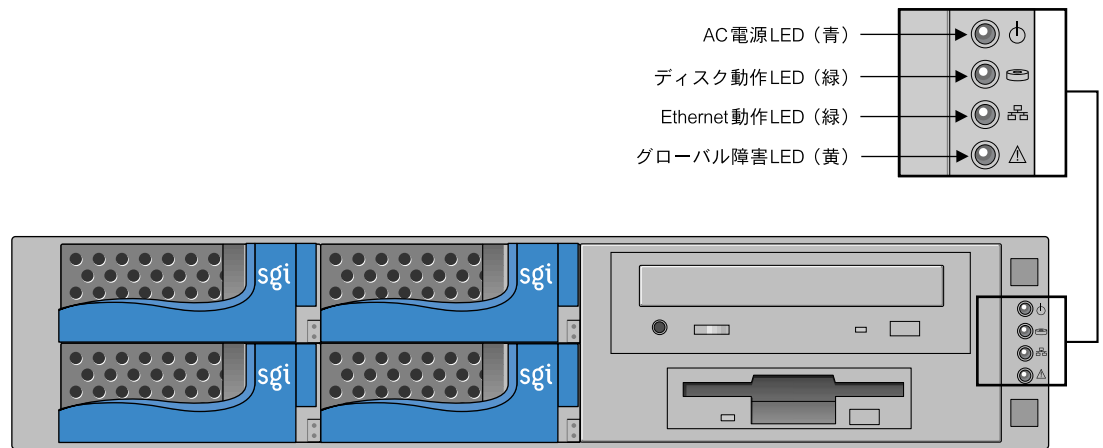


図 1 フロントカバーを取り外した SGI 1200 の前面図

4. PCI ボードの取り付けやメモリ増設などの作業については、『SGI 1200 サーバファミリー ユーザーズガイド』を参照してください。

注意： 静電気の放電（ESD）が発生すると、ディスクドライブ、アドインボード、および他の部品が損傷する危険性があります。このサーバは、通常レベルの放電に耐えるように設計されていますが SGI は、このガイドに記載している作業を、静電気対策の施された場所で行うことをお勧めします。静電気対策の施された場所を利用できない場合は、アースとして静電気破壊防止用リストストラップを装着し、シャーシの塗装されていない部分に接続した状態で、作業を行うことをお勧めします。

5. 「ユーザーズガイド」の第3章の手順に従って、ラックにユニットを取り付けます。
6. 図2のように、使用する周辺機器をコネクタに取り付けます。
 - **キーボード：** キーボードをキーボードポートに接続します。
 - **マウス：** マウスをマウスポートに接続します。
 - **モニター：** モニタをサーバ後部にあるビデオコネクタポート、および電源に接続し、モニタの電源を入れます。

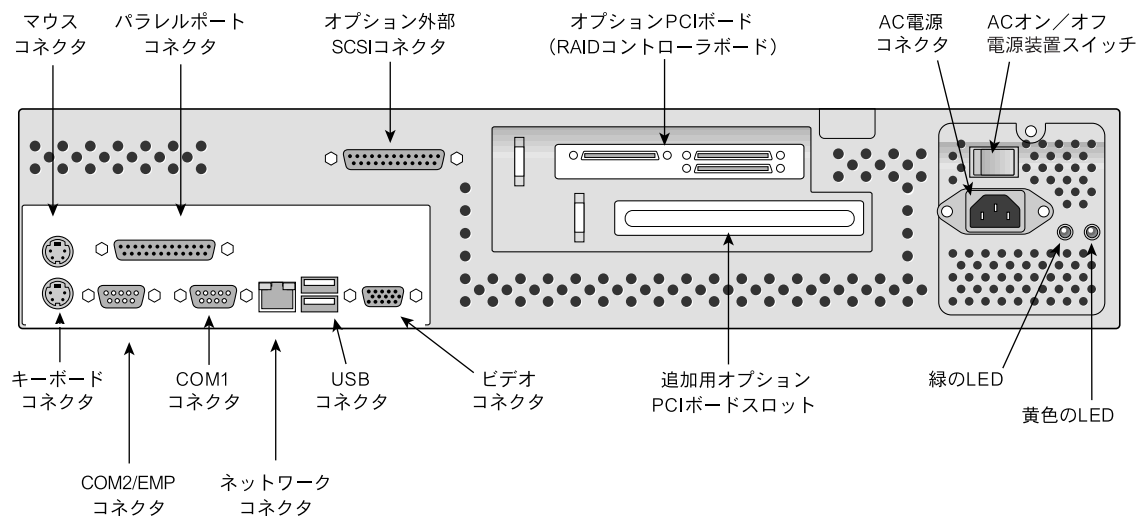


図 2 SGI 1200 サーバの背面

- 電源コードを背面にある AC 電源コネクタに差し込んで、もう一方の端を電源に接続します。

注意：適切にアースされたコンセントを使って、電源を接続していることを確認してください。雷などの影響を受けやすいような場所では、サージサプレッサの使用を強くお勧めします。

- 背面の電源スイッチ（電源装置上）を入れます。
- 前面の電源スイッチを押します。



警告：前面の電源スイッチを切るだけでは、すべての内部電源がオフにはなりません。サーバの電源をすべてオフにするには、背面にある電源装置のスイッチを切ってから、AC 電源コードをコンセントから取り外してください。

フロントパネルの AC 電源 LED (39 ページの図 1 を参照) が点灯していることを確認します。これらの LED の詳細については、該当するサーバの「ユーザズガイド」を参照してください。

数秒すると、パワーオンセルフテスト (POST) が開始されます。モニタをサーバ背面のコネクタに接続し、電源を入れていなければ、POST の結果を参照できません。

- サーバに OS がプリインストールされていない場合は、OS に同梱されているマニュアルに従って OS をインストールします。

11. 電源を入れると、CPUのタイプが表示され、メモリテストが実行された後、様々なメッセージが表示されます。その後、次のようなメッセージが表示されます。

Press <F2> to enter Setup

12. ここで <F2> を押さないと、ブートプロセスが続行され、以下のようなメッセージが表示されます。

Press <Ctrl><A> for SCSI Utility

- ここでSCSIユーティリティを使用する場合は、<Ctrl>+<A>を押してください。適切な設定を行った後、<Esc>を押すとユーティリティが終了します。SCSIデバイスが接続されていない場合は、SCSIユーティリティを利用できません。
- <Ctrl>+<A>を押さないと、ブートプロセスが続行されます。再び「Press <F2> to enter Setup」のメッセージが表示され、パワーオンセルフテスト (POST) が続行されます。OSを利用できない場合は、次のようなメッセージが表示されます。

Operating System not found

13. POST 処理中に <Esc> を押すと、ブートメニューが表示されます。ブートメニューから、ブートデバイスを選択したり、BIOSの設定を行うことができます。

POST 処理が完了すると、OS がロードされた後、ログイン画面が表示されます。

マニュアルの入手方法

SGIは、オンラインやCDで、様々な形式のマニュアルを提供しています。

SGI Technical Publications Library

SGIは様々な形式のマニュアルを公開しています。WWW経由でSGI 1200サーバマニュアルを参照する場合、Webブラウザを使って、次のURLにアクセスしてください。

<http://techpubs.sgi.com/library>

ここからキーワード検索やタイトル検索を行って、目的の情報やマニュアルを探してください。

CD マニュアル

SGI 1200 サーバには、CD マニュアルが同梱されています。CD には、次の形式のマニュアルが格納されています。

- **PDF ファイル**：Adobe Acrobat Reader を使って、PDF ファイルを参照／印刷してください。Adobe Acrobat Reader がプリインストールされていないOSもあることに注意してください。Acrobat Reader は、ドキュメント CD に格納されています。
- **HTML ファイル**：Web ブラウザを使って、HTML ファイルを参照／印刷してください（英語版のみ）。

製品の注意事項

SGI 1200 サーバを安全に使用するためにも、次の事柄に気を付けてください。

- 本製品に含まれる電源装置については、専門の担当者だけが作業を行ってください。
- 提供されている AC 電源コードを変更しないでください。
- 提供されている AC 電源コードが、利用する電源装置と規格が合わない場合は、使用しないでください。
- SGI 1200 サーバの前面にある電源スイッチをオフにしても、すべてのシステム電源がオフになる訳ではありません。電源をすべてオフにする場合は、背面にある電源装置のスイッチをオフにした後、コンセントから AC コードを取り外してください。